

議会改革意見交換会実施報告書

開催日時	令和 5 年 5 月 1 6 日 (火) / 1 9 時 0 0 分 ~ 2 1 時 0 5 分
開催場所	加美コミュニティプラザ
出席議員	受付・アンケート回収 (足立吉継) (廣畑幸子) 司会 (日原茂樹) 報告 1 (廣畑幸子) 報告 2 (内橋志郎) PC (藤本一昭) 写真 (吉田政義) グループ担当 (足立吉継) (藤原清勝) (市位裕文) (大山由郎) (橋尾哲夫) (内橋志郎) (門脇保文) (廣畑幸子) 挨拶 笹倉政芳議長・門脇教蔵副議長
欠席議員	なし
参加者数	2 6 人
意見交換会意見まとめ	<p>1 議員のなり手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬が少ないので若い人には難しい。せめて 1.5 倍に。30 代、40 代の世代には厳しい。報酬を上げたらどうか。 ・報酬が安すぎる。いま議員のほとんどは年金受給者である。若者は、子どもを育てなくてはならず、生活できない。生活するのに必死である。 ・政務活動費と言わず、必要経費として計上する仕組みを作れば。 ・今の報酬で生活ができるならよいが。 ・報酬を上げて無理かも。住民が議員を育てるのも大事。・兼業（サラリーマン、小規模事業主）が厳しいから。 ・農業や林業しながら議員になっても生活できない。経済的な問題がある。 ・若い世代は自分に関係があるものしか興味がないから。 ・分かりやすい言葉と内容で議会をやって欲しい。 ・若い女性議員が欲しいなら、育児優先、託児あり、子連れ登院可能、学校の下校時間に合わせた議会の時間帯にする。WEB 会議でも。 ・選挙の際のゴタゴタが嫌。旧態依然とした選挙活動が嫌。 ・4 年に一回の就職活動がキツイ。失業保険も保障もない。今の雇用形態は 4 年間の有・期契約社員なので、そんなものに人生は賭けられない。最低限として、生活の保障が必要。 ・後ろ向きの議論ばかりではだめ。 ・昔は村からの代表的な人を村推薦で出していた。村推薦も悪くない。 ・一人を担ぎ上げるような応援団という形がないため。それは、人の繋がりが多可町外にある。例えば SNS で求めればサポートしてくれる。 ・傍聴に行っている人はわかるが、たかテレビの放送だけではわかりにくい。もっと分かりやすく。

- ・発信不足。もっと議員の事を知らせて欲しい。
- ・議員の存在が見えない。職業として魅力を感じない。
- ・議員の活動が見えない。普段の詳細が分からない。見えない議員の姿。もっと発信せよ。
- ・若い議員さんと呼び、若い女性を対象に講演会を行う。子育て中の議員にも参加してもらう。
- ・町政が何をしているか見えにくいから興味が持てない。
- ・家族の理解が難しい。地域の見方がハードル。
- ・若い女性に関心を持って欲しい。女性が議員に成れる環境と理解が必要。
- ・子育て中でも女性が出られるような環境と理解が必要。
- ・女性会員を増やす組織や仕組みを作る。(小野市は女性の区長が3名)。
- ・サラリーマンでも議員に成れる制度が必要ではないか。
- ・議員のなり方が分からない。議会だよりは見てはいるが。
- ・議員の仕事は毎日なの?何時からなの?etc.
- ・議員は住民の考えをくみ上げて町へ出すのが仕事。メンタルの強さも必要そうだとひとは限られてくるのでは。
- ・NHK クローズアップ現代で政策サポーター制度をやっていた。住民と議員と一緒に動けば住民の意識が変わって(上がって)議員に出るということも考えられる。いきなり出るのは難しい。
- ・子育てふれあいセンターのお母さん方は、いろんな思いを持っている。以前議員との懇談会があったが、こういうことを定期的にやって欲しい、議員や議会に興味を持つことになるし、身近になる。
- ・子どもを預かってもらえる例えばベビーシッター制度などあれば出やすいのでは。
- ・子育てが忙しい世代にとって選挙も負担。子育て世代は介護の問題も出てくる。
- ・魅力ある多可町ではない。活気がない。今の子供たちは、多可町から出ることを前提にして成長している。
- ・小野市は、子育ての魅力を保育園のイベントに市役所の方が来られて話をしてくださった。保護者は、いい街だなあとと思っている。そんな風に議員もしてくださったら、だいぶ違ってくると思う。その保護者の中から、議員に挑戦しようと思う女性の方が出てくると思う。
- ・とにかく、子どもたち、若者たちが少なくなったことがすべてに影響して、いろいろな問題を生んでいる。
- ・このままだと、無限の力を持っている子供たち、若者が出て行ってしまふ。

2 議員定数・議員報酬

- ・ 3町の時と比べて、少なすぎる。
- ・ 減らす方向は反対。住民の声を反映させるため。
- ・ 増やした方が良い。様々な年代の人の声が必要である。各世代が言いたいことがある。
- ・ どの世代もいる方がバランスがとれて良い。
- ・ 各区の定数を定めることはできないのか？
- ・ 男女別の定数を定めることは出来ないのか？
- ・ 定数は、14か12。最低議会運営ができないのでは困る。
- ・ 増やすべき
- ・ 14人いる事も初めて知った。初めて見る人ばかり。
- ・ 減らすべし。10人。各区3人に議長1人。人口比で。
- ・ 定数14名を10名に減らしても各住民の意見を吸い上げることはできる。
- ・ あまり減らしたらダメ、住民の声が届かなくなる。
- ・ 住民に分かりやすい活動を。
- ・ 議員は遠い存在なので、多いか少ないか分からない。
- ・ 定数が偶数の理由は理解できた。なら増減は二人ずつと考えられるが、変化が大きいのでは。
- ・ サポートする方があれば、ネットを使ってたくさんの意見を吸い上げる。それができれば、定数14人でもいいかなと思う。
- ・ 仕事のできる人だけ、限定した人数で。
- ・ 家族手当・子ども手当等各種手当を加算する。
- ・ 多可町の議員報酬の月21万円5千円では、若い人が議員になれない。
- ・ 会議、委員会出席時の費用弁償が必要。
- ・ 政務活動費も出ないのであれば、若い世代は議員にならない。
- ・ 議員報酬は議員や元議員が考えることである。
- ・ 多いのでは。今の議員では。
- ・ 個人差がある。活動による。
- ・ 議員同士で評価するのも良い。
- ・ あまり多いと風当たりが強いのでは。
- ・ なぜ、市議と町議でこんなに報酬に差があるのかびっくりする。
- ・ 多可町は男性が大黒柱という考えが根強い。男性がこの報酬では無理。
- ・ 自分の仕事、報酬を思うとこれでは不足かなと思う。
- ・ 小さい子どもがいる家庭ではとても不安定。出られない。
- ・ 議員報酬は、せめて40代の役場職員の給与ぐらいが必要と思う。今の報酬では、生活できないでしょう。
- ・ 政務活動費は、必要だ。交通費も同様。
- ・ 10人にして、子育て女性には厳しいので、労働基準法に添って、フル

タイム議員になって手取り 30 万円にする。

- ・ 1つの委員会にし、8人で一人40万円でもいいのではないか。
- ・ 定数を減らし、給料を上げる。定数10人、報酬30万円以上。
- ・ 2年に1度は報酬審議会を開くべきではないか。
- ・ 近隣市町との人口動態や町政比較する
- ・ 仕事の内容が分からないので、定数・報酬ともこれで適正か分からない。
- ・ 議員の仕事が見えないから、わからない。

3 住民に関心を持ってもらう議会

・ 住民に関心をもってもらう議員になること。その為には、一生懸命している姿をみせよ。

- ・ 議員の名前がわからない
- ・ 遠くから来て、多可町に住んでいる人の話を聞く(好きで来た人は除く)。
- ・ 住民が関心を持っている事を議会で議論すべき。
- ・ 委員会を公開して、侃侃諤諤している様子を見たい。
- ・ 今日のこの会も声をかけてもらうまで知らなかった。LINEを活用してお知らせしたら？

・ この会も、LINEポイントを付与するなど、最初だけ価値を付けて議会に興味を持ってもらうような仕組みを作る。

- ・ 来て欲しい女性層が一番出にくい時間帯の会である。
- ・ 高校生議会だけでなく、多可町の事を調べる4年生ぐらいから議会についての勉強を取り入れてみたら？中学生も。
- ・ 議会の活動内容が、住民から調べないと分からない。
- ・ このままだと10年20年後にはもう議員のなり手はいないのでは。
- ・ 議員の存在感がない。
- ・ 夜間議会、日曜議会。
- ・ いろいろ新しい事をして周囲から注目される議会。タブレット、高校生議会等。

- ・ 発信力をつけろ。
- ・ 情報発信は今流のスマホを活用すべきである。
- ・ 議員の情報発信力がない。
- ・ 日常情報発信せよ。

・ 住民にとって議会は他人事。何故か、議会はこのようにしていますよといった情報発信が不足している。SNSなどで、こんなこと、あんなことを知らせよ。

・ 過去に相談した時の対応が悪く、その印象が残っている。困りごとを相談して良かったと言える議員なら、その議会に関心をもてる。

- ・ 多可町の政策や報酬についても魅力を感じない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・議員さんに頼んで、何かが実現したと言う経験がないために関心が薄い。 ・議会の影が薄い。もっと政策や提案することにより議会をアピールする。 ・住民と議員との交流が少ない。フェイスブック等に投稿し、議会報告してはどうか。お年寄りの方も、スマホをお持ちの方が増えてきている。 ・座談会を重ねていくと良い。ネーミングは考えて欲しい。子育て世代だけでなく、いろんな年代が参加できるように。 ・勉強会は例えば「なり方の会」など開いて欲しい。 ・NHK「しゃべり場」→何でも言おうよ。そんな会を開いては。 ・議員との話し合いがもっとできれば良いと思う。お母さんたちも外向きに意見が出せると思う。(もちろんお母さん限定ではなくいろんな世代) ・地元にいると状況が分かりにくい。一度町外に住んで戻ってくると、良くも悪くもいろんなことが見える。 ・家庭の理解を得るためにも、家族みんなで来られるのが良い。 ・勉強会や意見交換の会があれば、理解が進む。
<p>要望等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てふれあいセンターは子どもがいなくても行ける場所。介護で困っている人なども参加できると良い。
<p>その他 特記事項</p>	

令和 5 年 5 月 24 日
多可町議会議長 笹倉政芳様

報告者 廣畑幸子